

沖縄県 労働基準協会だより



主な 内 容

- 令和6年度通常総会を開催
- (会長あいさつ、沖縄労働局長ご祝辞)
- 令和6年度沖縄県産業安全衛生大会のお知らせ
- 令和6年度全国産業安全衛生大会in広島が開催及びツアー案内
- 各地区安全管理推進大会を開催
- 沖縄労働局から
 - ①県内における令和5年の労働災害発生状況について
 - ②令和5年労働災害・死亡災害発生状況(確定版)
- 講習会のご案内(令和6年8月分)
- 新規加入事業場のご紹介(令和6年5月16日～6月15日)



ヤギのファミリー

人が寄っていくと餌を求めて集まってきます。かわいいですねー
(撮影地 今帰仁村にて 撮影者・写真提供：与儀栄太郎氏)

発行所／一般社団法人 沖縄県労働基準協会
〒900-0001 那覇市港町 2-5-23
電話：098-868-2826
FAX：098-869-1714

発行人／会長 島袋 清人

定 価／1 部 50 円

(会員の購読料は会費の中に含む)

ホームページ <https://www.okinawa-roukikyo.org/>

令和 6 年度 通常総会を開催しました。

(一社)沖縄県労働基準協会は、去る 6 月 11 日(火)、沖縄ハーバービューホテルにおいて、令和 6 年度通常総会を出席者 97 名、書面議決 387 名、委任状 738 名、総数 1,222 名のもと開催しました。

島袋会長のあいさつにより開会し、第 1 号議案から第 5 号議案まで審議が進められ、審議の結果、全て原案通り決議承認されました。

第 1 号議案の令和 5 年度事業報告、決算報告及び会計監査報告においては、講習会は 188 回開催し、受講者数は 7,523 人で前年度より 63 人の減少となり、経常増減額もマイナスの 945 万円となったこと等が報告されました。

第 3 号議案の令和 6 年度事業計画及び収支予算(案)においては、技能講習の登録有効期間の満了に伴い更新を沖縄労働局に行き、令和 11 年 3 月 31 日までの 5 か年間の登録更新が認められたこと、法改正により新設された「金属アーク溶接等作業主任者限定講習」の新規登録申請を沖縄労働局に行き当該講習を新規開催すること、本島中南部の講習は中城モールの 4 階を賃貸契約して専有の講習会場として行うこと、本年 2 月より施行されている「テールゲートリフター操作特別教育」や本年 4 月より選任が義務化されている「化学物質管理者(取扱い事業場向け)」の講習開催等、会員のニーズに沿った必要とされる講習等を的確に実施していくとともに、講習内容の充実を図っていくこと。沖縄労働局及び各労働基準監督署等の連携をより一層密にして「沖縄労働局第 14 次労働災害防止計画」の目標でもある「労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせる。」の達成に努める等の説明がありました。

議案審議終了後には、沖縄労働局長及び沖縄労働局幹部並びに那覇及び名護労働基準監督署長にご来賓いただき、柴田栄二郎沖縄労働局長からご祝辞をいただきました。

総会終了後は、交流会が開催され、多数の会員及び行政関係者等が参加され、交流を深めました。



会 長 挨 拶

島袋 清人

令和 6 年度、一般社団法人沖縄県労働基準協会の通常総会にご出席いただき、ありがとうございます。

日頃から当協会の業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度の通常総会は例年どおりの開催で、総会終了後には交流会を予定しております。また本総会の議事終了後には、今年 4 月に着任されました柴田栄二郎沖縄労働局長からご来賓の挨拶を頂くこととなっております。



さて、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症へと移行して 1 年が過ぎ、社会経済活動は正常化して活発になり、県内経済は物価高、人手不足感はあるものの、コロナ禍前にはほぼ戻ったものと思われます。今後は、生産性の向上、成長と分配の好循環を構築していく必要があります。

一方、沖縄県内の労働災害は増加傾向にあり、昨年は新型コロナウイルス感染症を除くと過去最多を更新しております。定期健康診断の有所見率も全国最下位が続き、全国平均値との差も縮まっておりません。

労働災害の増加傾向に歯止めをかけるためには、最もその割合が高い「転倒」防止対策に取り組むことはもちろんのこと、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」等を重点的に防止していくことが強く求められます。また、定期健康診断の有所見率の改善には、うちな一健康経営を宣言して健康経営に取り組むことが重要であり、令和 5 年度から展開されている「沖縄労働局第 14 次労働災害防止計画」等に基づき、各事業場が労使一体となって、自発的に安全衛生対策に取り組み、アウトプット指標を達成する必要があります。

労働環境の面では、本年 4 月より建設業や製糖業、ドライバー、医師の時間外労働の上限規制が適用されております。長時間労働の解消などによる労働環境の改善により、働く人、一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにするためには、個々の事業者の努力だけでは難しく、商取引の慣習等の変更、国民の暮らし方や意識も変えていく必要があると考えています。

また、昨年から新たな化学物質規制の仕組みが導入されておりますが、本年 4 月からはリスクアセスメント対象物を製造、取扱い、譲渡提供する事業場は、「化学物質管理者」の選任が義務化されており、リスクアセスメント結果に基づいた有効な保護具の選択、使用状況の管理等を行う「保護具着用管理責任者」の選任も義務化され、皮膚等への障害防止のための保護具着用の義務化も実施されております。

沖縄県労働基準協会といたしましては、会員事業場のニーズに沿った各種講習会等を開催するとともに、沖縄労働局及び労働基準監督署、各労働災害防止団体との連携を密にし、沖縄県内の安全衛生水準の向上、労働者が安全で安心して働

ける労働環境づくりの実現の一助となるよう事業計画を策定し、取り組むこととしております。

会員事業場の皆様には、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、総会議案の審議の程よろしく願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いします。

沖縄労働局長ご祝辞

沖縄労働局長 柴田 栄二郎

本日、ここに令和 6 年度の沖縄県労働基準協会通常総会が盛大に開催されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴協会及び会員の皆様には、日頃より労働行政の円滑な運営につきまして、多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢は、国内外からの観光客の増加とともに、改善傾向が続いております。令和 4 年 8 月以降、有効求人倍率が 1 倍を超えるなど改善が続き、人材確保が喫緊の課題となっております。

こうしたなか、求職者はこれまで以上に賃金などの求人条件に関心を持っております。

そのため、人材確保には、これまで以上に各企業において多様な人材活用や、生産性向上による賃上げ、働き方改革による労働環境の改善が不可欠となっております。

働き方改革関連法は、令和元年 4 月より順次施行されてきましたが、最後となります自動車運転者、建設業、医師、砂糖製造業の職場における、時間外労働の上限規制が本年 4 月より適用されました。

既に適用している多くの職場で遵守して頂くことはもとより、今般適用となりました職場でも、遵守していただく必要がありますが、引き続き長時間労働の削減のための自主的な取り組みが必要です。

労働局では、時間外労働の上限規制への対応をはじめ、働き方改革の各種相談に応じる働き方改革推進センターを設置しております。

相談に加え、各種助成金もご用意しておりますので、それらを積極的にご活用頂きますよう、お願い申し上げます。

また、県内の労働災害による死傷者数は、昨年、過去最多となりました。定期健康診断における有所見率も、全国で最も高い水準が続いております。

労働局では、労働災害の減少に向けて、転倒災害の防止、高年齢者の労働災害防止、「うちな一健康経営宣言」登録数の拡大などに取り組んで参ります。

また、これからの季節、熱中症予防対策は、屋外・屋内を問わず、全ての職場で取り組んでいただく必要があります。

昨今、配送など多様な業種で、人手不足を補う一手段として、フリーランスに委託するという方法も普及しております。フリーランスとの契約では専門的なスキルが必要な部分を委託できるというメリットがある反面、「報酬が支払われない」「ハラスメントを受けた」等のトラブルが増えています。そこでフリーランスとの受発注等に係るルールを定めた法律の施行が 11 月に予定されております。フリーランスに業務を発注する事業主等にも適用されるものとなります。

労働局では、今後、施行に向けた周知広報に力を入れて参ります。

事業者や労働者が、共に働きやすい、安全で安心な職場環境の整備は、人材確保・人材の定着にもつながる重要な経営課題でございます。貴協会及び会員の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、島袋会長をはじめ役員の皆様の下、貴協会がますますご発展されますこと、また、会員の皆様のご健勝とご発展を心より祈念いたしまして、私からの祝辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



令和 6 年度 沖縄県産業安全衛生大会



特別講演

「沖縄県と各都市をつなぐBodySharing技術
体験共有の未来とそのライフスタイル」

講師 玉城 絵美 氏（H2L, Inc., CEO、
琉球大学 工学部 教授）



10月11日(金) 14:00～ 会場 ラグナガーデンホテル

第83回(令和6年度)全国産業安全衛生大会in広島

第83回全国産業安全衛生大会は、テーマを「変わる時代に 変わらぬ誓い 安全・建国・平和な未来」とし、10年ぶりに広島県広島市において開催されます。大会初日は総合集会として、表彰式、特別講演(広島出身で元陸上選手、400mハードル日本記録保持者 為末 大氏による「熟達しつづけるために」)等が行われます。2日目、3日目の分科会は、広島国際会議場、広島市文化交流会館、JMSアステールプラザを使用して、リスクアセスメント・DX・ダイバーシティなどをテーマに、研究発表、安全衛生の専門家による講演など充実したプログラムを提供いたします。大会期間中3日間、広島県立広島産業会館にて、安全衛生保護具などの展示を行う「緑十字展も併せて開催されます。

日 付	行 程
11月12日 (火) 1日目	集合 8:00 那覇空港 9:40発 100分 ANA 1202 福岡空港 11:20着 12:10 地下鉄移動 博多駅 12:15 13:15 福山東IC 16:50 バス移動 20分 広島IC 17:45 バス移動 20分 【宿泊施設】 オリエンタルホテル広島 18:05 同ホテルにて懇親会 19:00 21:00
11月13日 (水) 2日目	オリエンタルホテル広島 9:00 バス移動 20分 宇品出入口 9:20 バス移動 呉IC 9:35 バス移動 10分 呉湾 9:45 仁保出入口IC 11:10 バス移動 10分 【昼食】 半べえ 和定食 12:20 バス移動 25分 第83回 全国産業安全衛生大会 総合集会 広島県立総合体育館
11月14日 (木) 3日目	オリエンタルホテル広島 各自移動 ⇒ ⇒ ⇒ 第83回 全国産業安全衛生大会 分科会 各自移動 ⇒ ⇒ ⇒
11月15日 (金) 4日目	オリエンタルホテル広島 11:00チェックアウト 各自移動 ⇒ ⇒ ⇒ 第83回 全国産業安全衛生大会 分科会 各自移動 ⇒ ⇒ ⇒ バス移動 福山東IC のぞみ29号 広島IC 地下鉄移動 福岡空港 ANA 1215 18:15発

全国大会参加申込・ツアー申込について

☆ 全国大会参加申込みは別途必要です。

特設ウェブサイトからお申込みできます。 <https://jisha-taikai2024.com/>

参加料 一般 16,500円(税込) 中災防賛助会員 8,250円(税込)

※ プログラム冊子(P47)のfax申込書も使用できます。当協会までお問い合わせください。

☆ ツアー参加申込方法については、当協会までお問い合わせください。

ツアー受付期間: 令和6年7月16日(火)～8月30日(金)

ツアー参加費用: 3泊4日 コース お一人様 137,000円(税込) + 保険980円

(※2泊3日希望の方は、別途ご相談ください)



の開催及びツアー申込のご案内

（一社）沖縄県労働基準協会では、下記のツアーを企画しました。研究施設の視察、美味しい食事、懇親会など充実した内容で企画しました。

是非、多くの会員事業場の皆様がご参加されますことをお待ちしております。



行 程				食 事
のぞみ30号 乗車86分 14:41 福山駅 バス移動 14:55 30分 15:25 びんご府中ものづくりのまちツアー 北川鉄工所福山工場 65分※ガイド付き バス移動 16:30 20分 【昼食】ご当地駅弁 分科会会場：広島国際会議場 広島市文化交流会館 JMSアステールプラザ ホテルから徒歩20分 ホテルから徒歩25分 ホテルから徒歩25分 朝：－ 昼：○(駅弁) 夕：レストラン				
戦艦めぐりツアー バス移動 10:40 15分 呉IC バス移動 10:55 15分 バス移動 17:25 バス移動 10分 17:35 オリエンタルホテル広島 ※懇親会：路面電車(貸切) 飲み放題、軽食付 4,000円 / 名 【限定26名/希望者のみ】 朝：○ 昼：和定食 夕：各自 ※懇親会 路面電車 食事とお酒				
オリエンタルホテル広島 オプション 牡蠣 昼食(参加希望者のみ) 12:00～13:00 「宮島牡蠣御膳プラン」2,800円(税込み) 朝：○ 昼：△オプションあり 夕：－ 各自				
集合場所 13:00 広島駅 バス移動 13:10 30分 13:10 老舗 ひろしま料理専門 酔心 穴子釜飯 バス移動 14:10 那覇空港 お疲れ様でした。 19:55着 朝：○ 昼：広島料理 夕：－				

【オプション（別料金）】

- ★ 11/13(水) 懇親会「貸切路面電車で 食事・飲み放題」 4,000円(希望者のみ・定員26名)
- ★ 11/14(木) 昼食「宮島牡蠣御膳を堪能」 2,800円 広島駅集合 / 電車移動(希望者のみ)



お問い合わせ先

(一社) 沖縄県労働基準協会 総務 098-868-2826

興味がある方、参加に悩まれている方 お気軽にお問い合わせください!

[illegible]

全日本安全衛生協会 変わる時代に 変わらぬ誓い 安全・健康・平和な未来

全国産業安全衛生大会は、全国から産業安全・労働衛生の関係者が一堂に集い、企業の研究発表や、専門家による講演などを行う、国内最大の安全衛生イベントです。産業現場での安全と健康の確保を誓う安全文化の祭典に、ぜひご参加ください。

総集合会

11月13日(水)
13:15～17:00 (開場11:30予定)

開会式のほか、安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、特別講演などを行います。

会場 広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)

【アクセス】 西広島駅「稲垣町西駅」「唐戸町1丁目」より徒歩5分 所在地 広島県広島市中央区唐戸1-4-1

特別講演



「熟達しつづけるために」

組織も人も熟達することで、より良い成果をおけることができます。また、熟達を通してより良い人生を歩むことができると考えています。熟達を助けるコミュニケーションのほか、個人の熟達・組織の熟達を5段階のプロセスに分けてお話しします。

Departure Partners 代表/元路上選手 **為末 大氏**

【プロフィール】 1978年広島県生まれ。スラックリ種目の世界大会日本人として初のメダル獲得者。男子400メートルハードルの日本記録保持者(2024年3月現在)。

現在はスポーツ事業などに取り組む。

分科会

11月14日(木)・15日(金)

全国の事業場からの研究発表をはじめ、最新の安全衛生の課題に対応した講演、パネルディスカッション等、多彩なプログラムを予定しています。

会場 広島国際会議場・広島市文化交流会館・JMSJスポーツプラザ (広島県広島市中区)

講演 ダイバーシティ等分科会



11月15日(金)
13:40～14:40
オタファウンス座
代表取締役社長
佐々木 孝富氏

「社員が活躍できる環境整備の重要性 ～オタファウンスの理念と様々な取り組みについて～」

講演 安全衛生教育分科会



11月14日(木)
14:30～16:00
フナナ働き方研究所
所長
平賀 充記氏

「Z世代のトリセツ ～若者の価値観を捉え直し 自律行走を支援する～」

講演 ゼロ運動分科会



11月14日(木)
15:40～16:40
筑波大学
人間系心理学 准教授
藤 桂氏

「『弧』をなぞき、『個』を活かす職場へ～職場でのユモアと心理的安全性の観点から～」

分科会名	日 程	分科会名	日 程
マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会	11/14、15	機械・設備等の安全分科会	11/15
ダイバーシティ等分科会	11/15	安全衛生教育分科会	11/14、15
安全管理活動分科会①	11/14、15	ゼロ運動分科会	11/14
安全管理活動分科会②	11/14、15	労働衛生管理活動分科会	11/14
安全管理活動分科会③	11/15	化学物質管理活動分科会	11/15
DX等分科会	11/14	メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会	11/14、15



本大会の参加者の方は、大会期間中、参加者の提示によって、「**広島県記念資料館**」の観覧料が無料となり、また、(関係者)申請中。詳細が決まり次第、特設ウェブサイトにてご案内します。

参加費	一般	1 名 16,500円 (税込)	
	中災防助賛会員 1 名	8,250円 (税込)	
お問合せ先	中央労働災害防止協会 教育・防災推進部 イベント事業課 TEL: 03-3452-6402		

[illegible]

りょく　じょう　し　てん

緑十字展 とは？

あらゆる職場の安全・健康・快適にかかわる
機械・器具や技術・情報・ノウハウを提供する
安全衛生分野で国内最大のBtoB展示会！
「全国産業安全衛生大会」と併催し
毎年開催都市を変え、秋口に開催しています！




前回「緑十字展2023 in 名古屋」の
開催規模

221社・団体、 866小間が出品！ 25,562名が来場！



来場者の所属部署（※緑十字展2023 in 名古屋）

① 1%	② 1%	③ 2%	④ 3%	⑤ 7%	⑥ 4%
⑦ 11%	⑧ 9%	⑨ 3%	⑩ 5%	⑪ 14%	⑫ 11%

**来場者の半数以上が
安全衛生関係者
もしくは現場関係者！**

- ① 環境・安全衛生
② 生産・製造
- ③ 人事総務・経理
- ④ 営業・販売
- ⑤ 施設・施工管理
- ⑥ 経営管理
- ⑦ 品質管理
- ⑧ 研究・開発
- ⑨ 資材・購買
- ⑩ 設計
- ⑪ 労務・企画
- ⑫ その他

**中央労働災害防止協会（主催）が有する
安全衛生分野における全国規模のネット
ワークを活かした来場促進計画が最
大の特徴です。**

※ 賛助会員（約5,300事業場）、全国（47都道府県）
労働基準協会会員企業、後援団体会員企業等

**また、従来の出展者からも
「緑十字展には目的意識を持った来場者が多い」
といった声が多く寄せられています！**

このようなご要望のある方、ぜひご出展ください！

- + 全国の企業・団体等の安全衛生関係者に自社製品のPRをしたい！
- + 新規ユーザー開拓、販路拡大をして、販売促進に繋げたい！
- + ホームセンター・インターネット通販等のバイヤーと直接商談したい！
- + 自社製品ユーザーの生の意見を聞きたい！
- + 安全衛生に関連する他企業、業種との連携を深めたい！



令和6年度 安全管理推進大会 を各地区で開催！

〈スローガン〉「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」

令和6年度全国安全週間の準備期間である6月に、沖縄県労働基準協会の各支部と関係労働災害防止団体等の共催、各労働基準監督署の後援により、各地区において安全管理推進大会が開催されました。

那覇地区

6月7日（金）に、アイム・ユニバースでこホール（小ホール）にて令和6年度那覇地区安全管理推進大会を開催し、91 事業所 150 名が参加しました。

参加者全員で黙祷を捧げたあと、開会あいさつをした仲西聡労働基準協会那覇支部長は、昨年の県内における死亡災害が前の年を大幅に上回ったことにふれ、「この深刻な状況を重く受け止め、各事業場で安全管理対策に継続的に取り組んでほしい」と呼びかけました。



南隆功那覇労働基準監督署長からは、「労働災害を発生した事業場から提出される『労働災害防止対策』を見ると、『手順の見える化』、『現場の声を生かしたリスクアセスメント』や『効果のある安全衛生教育』等の取り組みが認められており、今後も継続的に実施して頂きたい。災害防止対策は、直ぐに効果が出るものではなく、日々の積み重ねが大切です。『千里の道も一步から』と申すように、出来るところから少しずつ取り組めば、いつかは目標を達成できると思います。」旨の来賓あいさつがありました。

佐喜真那覇監督署安全衛生課長からは、全国安全週間に向けての取り組みや荷役作業、脚立からの転倒災害防止等について説明がありました。



特別講演では、那覇市防災危機管理課 主幹・防災士の源河北斗氏より「災害への備えと安全管理」と題し、「災害は忘れる前にやってくる」と唱え、避難警戒レベルや避難情報の発令の重要性、災害に備える基本的考え方などの説明がありました。

建災防沖縄県支部南部分会の安全指導員を中心に参加者全員で安全週間スローガンの指差唱和が行われ、労働災害ゼロへの決意を新たにしました。大会宣言は、建荷協沖縄県支部の安里副支部長より読み上げられ、参加者全員が労働災害のない安全で快適な職場づくりを目指すことを宣言しました。



中部地区

6月5日（水）、沖縄市産業交流センターにて令和6年度中部地区安全管理推進大会を開催し、75 事業所 137 名が参加しました。

参加者全員で黙とうを捧げたあと、共催者を代表して金城稔労働基準協会中部支部長のあいさつで開会し、金城支部長からは、大会を機にこれまでの取組みを検証し、改善の必要性があれば一つでも改善するなど、全員で安全な職場を築けるよう取り組んでまいりましょうとの呼びかけがありました。



比嘉健三沖縄労働基準監督署長からは、「死亡災害は、昨年県内 6 名のうち 5 名が沖縄監督署管内で発生する非常事態であった。令和6年は管内では死亡災害は発生していないが、休業4日以上の死傷者は4月末時点で106件と昨年同時期に比較し1名増加となっており予断を許さない状況である。基本的災害防止対策として『注意してください』という抽象的指摘ではなく、『手すりの設置を点検してください』等と具体的に指示していただきたい。産業経済の発展は労働力であり、労働者の安全と健康を守ることは自社の発展のキーポイントであることを認識し、安全週間のみならず継続的・長期的視点にたった労働災害対策をなお一層推進してください。」旨の来賓あいさつがありました。

松橋直樹沖縄監督署安全衛生課長からは、「『安全』について考える」と題して説明が行われ、国際安全規格の「安全」の定義は「許容できないリスクが存在しないこと。」で、日本語の「安全」の意味であるリスクがないとは違っている。労働災害防止対策は、従来の『すべての危険をなくす』という発想の「絶対安全」から、『より「安全」寄りに近づける』という「リスクに応じた対応」でよいのではという旨の説明がありました。





特別講演では、沖縄気象台地域防災推進課の奥平貞雄氏と地震火山課の浜比嘉美香氏より「自然災害について（台風、大雨、地震・津波）」と題して、防災気象情報、地震・津波情報の読み取り方や避難の方法等の説明が行われました。

本大会の「安全の誓い」が、(株) おきさんの親川恵美子氏により読み上げられ、参加者全員の総意により採択され、建災防沖縄県支部中部分会の安全指導者の島袋英樹氏が代表となって参加者全員で指差唱和をし、ゼロ災を誓いました。



北部地区

6 月 6 日 (木)、北部会館 3 階研修室にて令和 6 年度北部地区安全管理推進大会を開催し、44 事業所 102 名の参加がありました。

参加者全員で黙とうを捧げたあと、沖縄産業保健総合支援センター大村副所長のあいさつで開会し、続いて、建災防沖縄県支部北部分会仲程分会長より主催者代表挨拶がありました。



上原周名護労働基準監督署長からは「北部地区においては、死亡災害は2年連続で発生していなかったが、今年に入り足場組立作業中の作業員が足場から墜落し亡くなる死亡災害が発生した。近年は『転倒』や『腰痛等』の労働者の作業行動に起因する増加し歯止めが利かない状況が続いている。労働災害を減少させるためには、管理体制を整備した上で、それぞれの作業内容に応じ、『転倒』や『腰痛等』の発生につながる要因を見つけ出し、作業のリスクを評価し、リスクの大きなものから対策を検討するリスクアセスメントの実施が重要となっている。」旨の来賓挨拶がありました。



伊波労働基準監督官からは、AI を用いて作成した資料により、安全週間趣旨説明、様々な労働災害の発生状況とその対策方法、健康づくり対策について図を用いた分かりやすい説明がありました。



特別講話は、大同火災海上保険 (株) の照屋勝則氏による「自動車交通安全講習会」と、同社の島袋康平氏による「労働災害の防止に向けて」の二部構成で、元警察官である照屋氏からは様々な現場で目にしてきた事故等の発生原因とその対策について映像も交えながら、身近な交通災害について分かりやすい説明があり、島袋氏からは労働災害の遺族の言葉と直接お会いすることで受けた感想や、その補償の内容等を具体的にご説明いただきました。

(有) マル井建設の又吉柊人氏より大会宣言が読み上げられ、労使一体となって労働災害のない職場づくりに邁進することを宣言し採択されました。指差し唱和では、(株) カイコンの宮城周策氏声出し、参加者全員で安全週間スローガン読み上げ新たに団結を図りました。



最後に、樽岡沖縄労働基準協会北部支部長より参加者への感謝の言葉のあと「今日のこの大会を契機に、みんなで健康で事故のない職場づくりに取り組み、安全週間はもとより、これから一年間、ゼロ災害を是非達成しましょう。」と閉会挨拶がありました。



宮古地区

6 月 4 日 (火)、宮古島市中央公民館 (未来創造センター) にて、令和 6 年度宮古地区安全大会を開催し、昨年度を上回る 39 事業場 105 名の参加者が集い、以前の活気を取り戻しつつありました。

参加者全員で黙とう後、城間正昭陸災防沖縄県支部宮古分会の挨拶により開会し、渡真利勝沖縄県労働基準協会宮古支部長からは、宮古圏域の観光客増加により各職種において人手不足が喫緊の課題であるが、各職場では環境整備などに取り組み、安全な職場づくりをお願いしたい旨あいさつがありました。



井上茂樹宮古労働基準監督署長からは、「宮古地区においては、昨年6月以降3人の方が亡くなり、大変憂慮すべき事態となったことから、宮古地区の各災害防止関係団体に死亡災害防止対策の徹底について緊急要請を行った。安全週間のスローガンの下、宮古地区の労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くため、労使一丸となった取り組みをお願いする。」旨の来賓あいさつがありました。また、同監督署の大久保優駿監督官から、宮古地区の死亡災害の発生状況とその原因・安全対策に言及した説明がありました。



特別講演では、島の保健室の西里えり奈氏より「健康管理の視点から診る熱中症対策」と題して、塩分水分の摂り方、具体的な取り入れ方の提案があり、わかりやすいと好評でした。

大会宣言が、砂川恵史朗港湾災防沖縄総支部宮古副支部長より読み上げられて採択され、建災防沖縄県支部宮古分会安全指導者の野原雅也氏を筆頭に参加者全員でスローガンに向かい指差唱和が行われ、労働災害ゼロに向け決意を新たにしました。



沖縄労働局から

県内における令和5年の労働災害発生状況について

～ 死傷者数が増加 ～

令和6年6月7日発表

【労働災害発生状況のポイント】

6 人の尊い命が失われ、死傷者数（休業 4 日以上。以下同じ。）が昭和47年以降で最多となり、重篤な被害につながりやすい墜落・転落による災害が依然として多発し、転倒による災害が増加して全体の 4 分の 1 以上を占め、50歳以上の災害が増加して全体の半分以上を占めた。

(1) 死亡者数（別添資料 p 1）

6 人 前年比 4 人（200%）増

(2) 死傷者数（別添資料 p 2）

1,467 人 前年比 145 人（11.0%）増

(3) 墜落・転落による災害（別添資料 p 3）

死傷者数**210 人** 前年比 3 人（1.4%）減、全体の 14.3% を占める。

(4) 転倒による災害（別添資料 p 3）

死傷者数**395 人** 前年比 45 人（12.9%）増 全体の 26.9% を占める。

(5) 50歳以上の災害（別添資料 p 4）

死傷者数**762 人** 前年比 99 人（14.9%）増 全体の 51.9% を占める。

※ 死亡者数は死亡災害報告による。死傷者数は労働者死傷病報告による。新型コロナウイルス感染症を除く。

沖縄労働局は、労働災害発生状況を踏まえ、以下の対策等に取り組めます。

(1) 「沖縄県建設業Safe-Work運動」の展開等

沖縄労働局が沖縄総合事務局・沖縄県土木建築部・建設業労働災害防止協会沖縄県支部とともに主催する「沖縄県建設業Safe-Work運動」の展開等により、重篤な被害につながりかねない墜落・転落による災害等の防止に向けて、労使の自主的な安全衛生活動の定着を図ります。

(2) 「沖縄県小売業SAFE協議会」や「沖縄県介護施設SAFE協議会」の運営等

県内の主要な企業で構成する「沖縄県小売業SAFE協議会」や「沖縄県介護施設SAFE協議会」の運営等により、増加する転倒や腰痛による災害等の防止に向けて、労使の自主的な安全衛生活動の定着を図ります。

(3) 「エイジフレンドリーガイドライン」の周知等

高年齢労働者の特性を踏まえた対策を示す「エイジフレンドリーガイドライン」の周知等により、増加する高年齢労働者の災害等の防止に向けて、労使の自主的な安全衛生活動の定着を図ります。また、これらの活動を対象とする「エイジフレンドリー補助金」の活用を促進します。

【参考】

1 別添 沖縄県内における令和 5 年の労働災害発生状況（下記 2 の抜粋）

2 沖縄労働局HP 沖縄県内における令和 5 年の労働災害発生状況

https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-udoukyoku/jirei_toukei/saigaitoukei_jirei/toukei.html

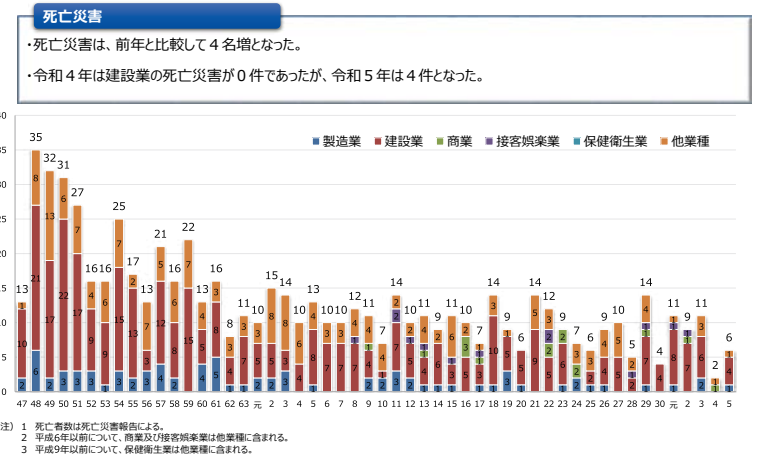
3 厚生労働省HP 全国における令和 5 年の労働災害発生状況

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40395.html

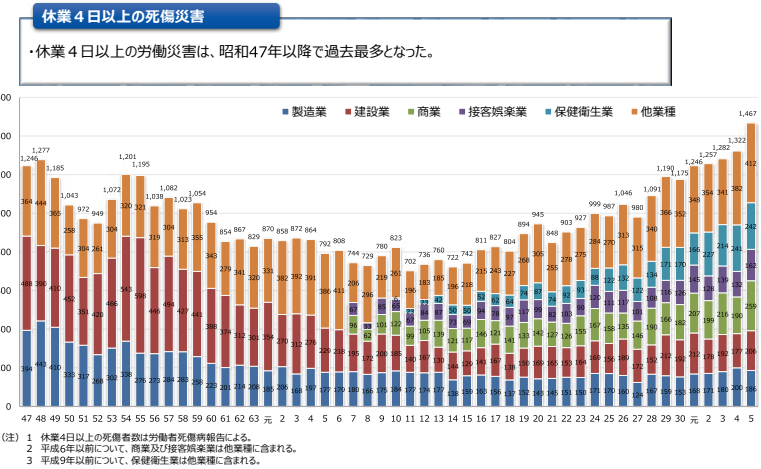


1 沖縄県内の労働災害発生状況 (死亡災害発生状況の推移)

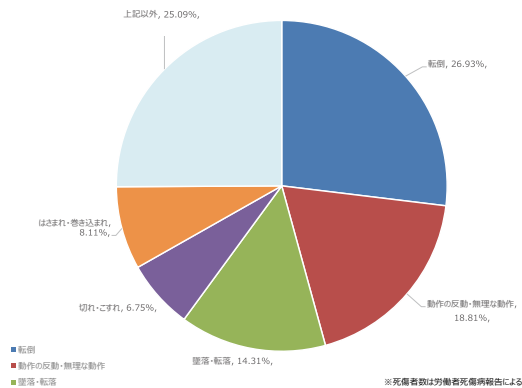
別添



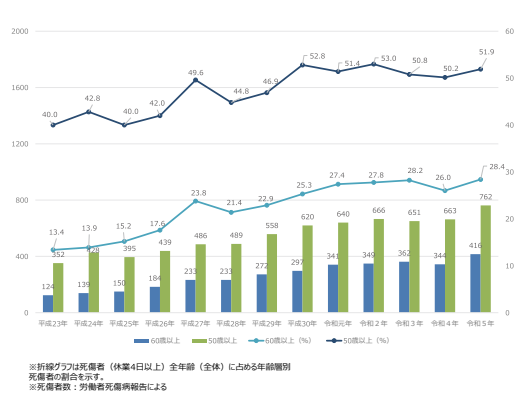
1 沖縄県内の労働災害発生状況 (休業 4 日以上の災害発生状況の推移)



1 沖縄県内の労働災害発生状況 (休業 4 日以上の災害発生状況の推移)



1 沖縄県内の労働災害発生状況 (県内における高年齢労働者等の労働災害発生状況の推移: 休業 4 日以上・全産業)



・詳細については、沖縄労働局のホームページをご参照ください。
なお、担当部署は、沖縄労働局労働基準部健康安全課
(電話番号 098-868-4402) です。

第97回 全国安全週間
期間 令和 6 年 7 月 1 日 (月) ~ 7 日 (日)
準備期間: 令和 6 年 6 月 1 日 (土) ~ 30 日 (日)

スローガン 危険に気付くあなたの目
そして摘み取る危険の芽
みんなで築く職場の安全

今年で 97 回目を迎える全国安全週間は、昭和 3 年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として実施されてきました。

これまで、事業場では、労働者が協議して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しておりますが、令和 5 年の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであるものの、休業 4 日以上の死傷災害は前年を上回る見込みであり、増加傾向に歯止めがかからない状況となっております。

特に、転倒や転落といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けており、死亡災害については墮落・転落などによる災害が依然として後を絶たない状況にあります。

また、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和 5 年 3 月に策定された第 14 次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進することが必要であり、計画年度 2 年目となる令和 6 年度においても、労使一丸となった取組が求められます。

そのため、令和 6 年度は、「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」のスローガンの下、全国安全週間を実施することとしました。

主催 厚生労働省、中央労働災害防止協会
協賛 建設業労働災害防止協会、
陸上貨物運送事業労働災害防止協会、
港湾貨物運送事業労働災害防止協会、
林業・木材製造業労働災害防止協会

※裏面の「令和 6 年度全国安全週間実施要綱について」もご覧ください。

令和5年業種別署別労働災害発生状況（確定版）

（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

沖縄労働局

年・署別・局計等		令和5年(12月末累計) 確定版						令和4年(12月末累計) 確定版						局計対令和4年比較	
業 種		那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	増減数(人)	増減率(%)
製 造 業		97	(1) 72	12	3	2	(1) 186	99	71	17	4	9	200	▽ 14	▽ 7.0
食 料 品 製 造 業		54	33	10	2	1	100	61	41	11		5	118	▽ 18	▽ 15.3
鉱 業							0						0	0	-
建 設 業		88	(4) 81	17	7	13	(4) 206	73	61	25	9	9	177	29	16.4
土 木 工 事 業		14	(1) 15	4	2	5	(1) 40	9	7	9	4	2	31	9	29.0
建 築 工 事 業		56	(2) 62	8	4	3	(2) 133	58	48	11	3	6	126	7	5.6
交 通 運 輸 事 業		26	6	1			33	25	3			1	29	4	13.8
陸 上 貨 物 運 送 事 業		58	14		(1) 3	4	(1) 81	52	20	1	3	2	78	3	3.8
港 湾 荷 役 業		3		1	1	1	6	1		3	3	3	10	▽ 4	▽ 40.0
林 業		1		1	2		4						0	4	-
農 業・畜 産・水 産 業		11	3	3		4	21	9	5	11	2	1	28	▽ 7	▽ 25.0
第三次産業（運輸を除く）		462	306	65	49	48	930	(2) 397	288	38	38	39	(2) 800	130	16.3
商 業		150	83	9	8	9	259	(1) 94	77	7	5	7	(1) 190	69	36.3
小 売 業		89	65	8	6	5	173	(1) 52	62	5	4	7	(1) 130	43	33.1
接 客 娛 楽 業		59	57	15	11	20	162	62	39	10	8	13	132	30	22.7
旅 館・ホ テ ル		22	21	8	6	9	66	18	18	7	5	9	57	9	15.8
飲 食 店		27	26	3	2	3	61	30	18	2	3	2	55	6	10.9
保 健 衛 生 業		119	82	22	12	7	242	126	82	10	12	11	241	1	0.4
社 会 福 祉 施 設		84	63	19	11	7	184	89	59	10	9	11	178	6	3.4
ビルメンテナンス業		38	10	2	10	6	66	40	20	5	4	3	72	▽ 6	▽ 8.3
そ の 他 の 業 種		96	74	17	8	6	201	(1) 75	70	6	9	5	(1) 165	36	21.8
全 産 業		(0) 746	(5) 482	(0) 102	(1) 65	(0) 72	(6) 1,467	(2) 656	(0) 448	(0) 95	(0) 59	(0) 64	(2) 1,322	145	11.0

(注) 1. 労働者死傷病報告により作成したもの。

2. 被災者数の枠の左側（ ）は死亡者数で内数。

3. 「▽」は減少を示す。

4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。

5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。

6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜（ヒル除く）、官公署、その他の事業を示す。

令和5年死亡災害発生状況（確定版）

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発生状況
1	沖 縄	はさまれ・ 巻き込まれ	建築物、構築物	機械器具設置工事業	1月上旬	30歳台	1～9	機械式駐車場の設置工事において昇降モーターの駆動チェーンの調整作業を行っていたところ、駆動チェーンが歯車から外れパレットが落下し、歩廊にまたがって別作業をおこなっていた被災者が挟まれたもの。
2	沖 縄	崩壊・倒壊	移動式クレーン	鉄骨・鉄筋コンクリート 造家屋建築工事業	1月下旬	50歳台	1～9	移動式クレーン（トラック積載型クレーン）を使用してつり上げ作業を行っていたところ、移動式クレーンの旋回体の根元部分が破断したことによりジブが倒壊し、被災者を直撃したものの。
3	沖 縄	激突され	解体用機械	鉄骨・鉄筋コンクリート 造家屋建築工事業	2月中旬	20歳台	1～9	解体用ニブラを装着した車両系建設機械で、スリングを通した足場板をニブラに引っかけて吊り上げ、積載型トラッククレーンに荷卸しをしようとしていたところ、車両系建設機械が転倒し、機械とトラックとの間に被災者がはさまれたものの。
4	宮 古	はさまれ・ 巻き込まれ	フォークリフト	一般港湾運送業	6月下旬	60歳台以上	30～49	フォークリフトを使用してトレーラーからコンテナの荷卸し作業を行っていたところ、フォークリフトの後方にいた労働者が、後進したフォークリフトに巻き込まれて被災したものの。
5	沖 縄	崩壊・倒壊	その他の用具	その他の 土工製品製造業	6月下旬	40歳台	1～9	被災者が鉄製アングルに立てかけられた石板（重量約300kg/枚）を重機により持ち上げるため、吊り上げ用クランプを固定する作業の際、鉄製アングルが破損し、石板約35枚が放散者の上に倒れ、はさまれたものの。
6	沖 縄	崩壊・倒壊	建築物、構築物	その他の土木工事業	10月中旬	50歳台	10～29	U型擁壁工事現場において土止め支保工を撤去するため、支保工を構成するH鋼の切断作業を行っていたところ。H鋼がブラケットから落下し、被災者がはさまれたものの。

※労働局にて把握した死亡災害の速報によるため、労働者死傷病報告にて作成している労働災害発生状況と件数は一致しない。

※記載された情報は今後の調査により修正される場合があります。



講習会のご案内 (令和 6 年 8 月分)

長年の実績と信頼、理解し易い講習に努めています

各講習の日程表など詳細については、当協会ホームページにも掲載しております。



二次元
バーコードからも
ご確認頂けます。

項 目	講習名	実施日・実施会場	受講料等(テキスト代込み)
事業部 (教習センター) ☎ (098) 979-7897 ☎ 979-9975	アーク溶接特別教育	8/1(木)～4(日) 学 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 美里工業高校 機械科溶接実習室(沖縄市泡瀬)	会 員 16,350 円 非会員 19,650 円
	フォークリフト運転技能講習	8/5(月)～9(金) 学 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 教習センター(うるま市州崎)	47,150 円
	自由研削といしの取替等の業務に係る特別教育	8/6(火) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 9,640 円 非会員 12,940 円
	第二種衛生管理者免許試験準備講習	8/7(水)～9(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 18,150 円 非会員 24,750 円
	フォークリフト運転技能講習	8/19(月)～23(金) 学 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 教習センター(うるま市州崎)	47,150 円
	高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	8/20(火)～21(水) 沖縄市産業交流センター(沖縄市泡瀬)	会 員 12,830 円 非会員 16,130 円
	職長教育・安全衛生責任者教育	8/22(木)～23(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 16,350 円 職長のみ 14,080 円 非会員 21,850 円 職長のみ 19,580 円
	玉掛け技能講習	学 8/26(月)～27(火) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 A班28(水)、B班29(木)、C班30(金) 教習センター(うるま市州崎)	免除有 26,150 円 免除無 28,150 円
那覇支部 ☎ (098) 868-2831 ☎ 869-1714	第一種衛生管理者免許試験準備講習	8/28(水)～30(金) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階)	会 員 20,240 円 非会員 26,840 円
	玉掛け技能講習	学 8/26(月)～27(火) 中城講習会場(中城村久場 中城モール4階) 実 A班28(水)、B班29(木)、C班30(金) 教習センター(うるま市州崎)	免除有 26,150 円 免除無 28,150 円
中部支部 ☎ (098) 937-0162 ☎ 937-0163	小型移動式クレーン運転技能講習	学 8/5(月)～6(火) 北部会館3階(名護市宇茂佐の森) 実 A班 8/7(水)、B班 8(木) ネオパークオキナワ駐車場	二科目免除 23,925 円 一科目免除 25,925 円 免除無 27,925 円
	ガス溶接技能講習	8/20(火)～22(木) 学 北部会館3階(名護市宇茂佐の森) 実 名護商工高校機械システム科 溶接実習室	12,500 円
北部支部 ☎ (0980) 54-4700 ☎ 52-7004	玉掛け技能講習	8/13(火)～15(木) 学 宮古建設会館 2階ホール 実 先嶋建設(株)多目的広場	免除有 26,150 円 免除無 28,150 円
	安全衛生推進者養成講習	8/20(火)～21(水) 宮古建設会館 2階ホール	13,930 円
	ガス溶接技能講習	8/24(土)～25(日) 学 宮古工業高等学校 自動車実習棟A(2F視聴覚室) 実 宮古工業高等学校 機械システム実習棟A(1F溶接実習室)	12,500 円
宮古支部 ☎ (0980) 73-1455 ☎ 73-6511	アーク溶接特別教育	8/2(金)～4(日) 学 石垣市福祉センター2F視聴覚室 実 八重山商工高校 機械科溶接実習室	会 員 16,350 円 非会員 19,650 円
	小型移動式クレーン運転技能講習	8/20(火)～22(木) 学 (株)紫電舎(2階会議室) 実 石垣港南め浜町ふ頭用地	二科目免除 23,925 円 一科目免除 25,925 円 免除無 27,925 円
八重山支部 ☎ (0980) 88-5355 ☎ 88-5360	アーク溶接特別教育	8/2(金)～4(日) 学 石垣市福祉センター2F視聴覚室 実 八重山商工高校 機械科溶接実習室	会 員 16,350 円 非会員 19,650 円
	小型移動式クレーン運転技能講習	8/20(火)～22(木) 学 (株)紫電舎(2階会議室) 実 石垣港南め浜町ふ頭用地	二科目免除 23,925 円 一科目免除 25,925 円 免除無 27,925 円

各講習の日程表・受講申請書が必要な方・定員の確認は、各支部へお問い合わせください。

・受講予約者が定員に達している場合には、キャンセル待ちとなりますので、ご了承ください。

めんそ～れ

沖縄県
労働基準協会へ



新規加入事業場のご紹介 (5月16日～6月15日)

協会支部名	事業場名	所在地
那覇支部	NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社 九州支店 沖縄センター	浦添市伊奈武瀬 1-7-13
八重山支部	NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社 九州支店 八重山センター	石垣市真栄里 571-8

※次の理事会にて承認予定

沖縄県労働基準協会だより

発行所／一般社団法人 沖縄県労働基準協会

〒900-0001 那覇市港町 2-5-23 TEL: 098-868-2826 FAX: 098-869-1714

発行人／会長 島袋 清人 定価／1部 50 円 (会員の購読料は会費の中に含む)